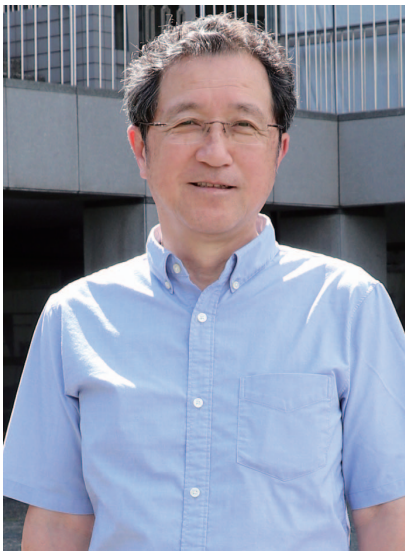
# 地域のみんなで災害に強く、安心なまちづくりを



宮内地区コミュニティづくり協議会の自主防災部長として防災活動に取り組む桝井さん。これまでに、地域の人たちと協力して取り組んだ防災活動の話をしてくれました。

## 東日本大震災がきっかけ

当時、町内会長1年目だった桝井さん。住民から「(災害が起きたときに)うちの町内はどこへ逃げればいいのか」と尋ねられて、答えることができなかったことから「災害への備えが必要」と思い立ちました。

まずは、町内の役員、民生委員、消防、元警察などの有志に集まってもらい、市役所にも声を掛け、町内会の防災委員会を立ち上げました。毎月、定例会議を開いて、防災の基礎知識を学び、話し合いを重ねました。1年半活動した結果、町内会の避難訓練に100人を超える参加があり、町内会独自の防災マニュアルを作成・配布しました。

同時期に、桝井さんは防災士の資格を取得。災害に関する専門的な知識や防災のノウハウを学んだことが、地域での防災活動に生かされていると言います。

## 二度と犠牲者を出さない

平成25年6月、宮内地区でがけ崩れにより1人の尊い命が失われました。宮内地区コミュニティの活動に携わるようになっていた桝井さんは「もう二度と災害による犠牲者を出さない」ために宮内地区の町内会長やコミュニティ役員と協力して「宮内地区自主防災部委員会」を立ち上げ、地区全体に防災活動を広げることに取り組んでいます。

## 地域全体で助け合い

平成26年8月に起きた広島土砂災害の直後に被災地を訪れた桝井さんは、改めて災害の脅威と現場の混乱を実感しました。

「大規模災害が起きたら、他の地区とも助け合える体制が必要」と考え、旧廿日市11地区(廿日市・佐方・原・平良・串戸・地御前・宮内・阿品・阿品台・宮園・四季が丘)の自主防災組織の責任者が集まり「廿日市地域自主防災連絡協議会」を協力して設立し、相互に連携できる体制づくりを進めています。

## 災害に強く、安心なまちへ

「これまで、多くの人の協力のおかげで防災活動に取り組むことができています。これからも、地域の皆さんと協力して、災害に強い、安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきたいです」と話してくれました。

上のQRコードを読み込むと市公式ホームページに飛びます。桝井さんのインタビュー動画を7月1日㈯に掲載しますので、ぜひご覧ください。

# はつかいち人 vol.19

廿日市市で輝く人を紹介します

宮内地区コミュニティづくり協議会 自主防災部 部長
廿日市地域自主防災連絡協議会 事務局長

## 桝井(ますい) 満(みつる)さん(66歳・宮内)

**目の不自由な人のため**
■音声読み上げのための「広報はつかいち」テキスト版をホームページに掲載しています。
■「広報はつかいち」のカセットテープ、デイジー図書、点訳本があります。問い合わせ 社会福祉協議会☎20294

## 人のうごき

| | | 前月比 |
|---|---|---|
| 総人口 | 117,326人 | (+35) |
| 男 | 56,342人 | (+11) |
| 女 | 60,984人 | (+24) |
| 世帯 | 51,332世帯 | (+78) |

(平成29年6月1日現在、外国人を含む)

## おわびと訂正

広報はつかいち平成29年6月号に人名の誤りがありましたので、訂正しおわび申し上げます。関係者の皆さまには大変ご迷惑をお掛けしました。今後、再発防止に取り組んで参ります。

5ページ「あなたの近くのママフレンド」
(正)佐藤(さとう) 博子(ひろこ)さん (誤)伊藤(いとう) 博子(ひろこ)さん

## 編集後記

最近、カープが盛り上がっていますね。活躍する「タナ・キク・マル・アベ(田中・菊池・丸・安部選手)」とは同学年の私。同学年の選手から常に良い刺激をもらいながら仕事に取り組んでいます。

西岡秀治

7月は1年で最も紫外線が強いそうです。ダメージに効果的なのがトマトに含まれるリコピン。オリーブオイルなどの油との摂取で吸収率がさらに上がるそうです。夏野菜で体を整えていきましょう。

澁谷里香

発行 廿日市市 〒738-8501 広島県廿日市下平良一丁目11番1号
☎0829(20)0001(代)・FAX0829(32)1059
編集 分権政策部 経営政策課 広報統計グループ
ホームページアドレス http://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/
フェイスブックアドレス http://www.facebook.com/hatsukaichicity